

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和3年7月26日(2021.7.26)

【公開番号】特開2020-168384(P2020-168384A)

【公開日】令和2年10月15日(2020.10.15)

【年通号数】公開・登録公報2020-042

【出願番号】特願2020-90708(P2020-90708)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 4 B

A 6 3 F 7/02 3 3 4

【手続補正書】

【提出日】令和3年5月25日(2021.5.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技球が流下可能な遊技領域が形成された遊技盤を備え、前記遊技領域を流下した遊技球が所定の始動口に入球することに基づいて抽選を行い、該抽選の結果に基づいて図柄の変動表示を行い、該図柄の変動表示の結果として当り結果が導出された場合に所定の当り遊技を実行する遊技機において、

前記図柄の変動表示を行う変動表示手段と、

前記始動口を含む複数の入球口のいずれかに遊技球が入球することに基づいて、所定数の賞球を払い出す払出手段と、

前記当り結果が導出される確率に関する設定情報を所定の表示部に表示可能な設定情報表示手段と、

所定のアウト口に入球した遊技球数を計数し、該計数した結果に連する特定情報を表示する特定情報表示手段と、

当該遊技機の電源が投入されるときに所定の設定確認操作が行われると、前記設定情報を前記表示部に表示するものの前記設定情報を変更することができない設定確認状態に制御する設定確認状態制御手段と、

を備え、

前記図柄の変動表示中に当該遊技機の電源が遮断され、その後の電源投入の際に前記設定確認操作が行われて前記設定確認状態が発生した場合には、該電源が遮断される前に行っていた前記図柄の変動表示を前記設定確認状態中に再開させず、前記設定確認状態の終了後に再開させるようにし、

前記払出手段による賞球の払い出し中に当該遊技機の電源が遮断され、その後の電源投入の際に前記設定確認操作が行われて前記設定確認状態が発生した場合には、該電源が遮断される前に行っていた賞球の払い出しのうち未だ払い出されていない分の賞球の払い出しを前記設定確認状態中に再開させるものであり、

さらに、前記設定確認状態中に前記アウト口に入球した遊技球については、前記計数の対象とせずに前記特定情報を更新されないようにしたことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0002

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0002】

従来、パチンコ機等の遊技機では、始動口に遊技球が入賞したことに基づいて抽選を行うと共に表示装置に図柄を変動表示するようにし、抽選結果が大当たりとなった場合に、表示装置に大当たり図柄を停止表示して大入賞口を開閉させている。このような遊技機では、始動口や大入賞口等に入球したときに、所定数の賞球が払い出されている（例えば、特許文献1参照）。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0003

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0003】

【特許文献1】特開2016-221113号公報

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0004】

しかしながら、ホールの閉店時において、賞球の払い出し中にもかかわらず電源を遮断すると、その後に賞球が払い出されることはないとため、得られるはずであった賞球が得られなくなり、遊技者が不利益を与える虞がある。このため、賞球の払い出し中には電源を遮断しないことが望ましいが、電源を遮断することなく賞球の払い出しを継続していると、遊技の進行が可能であるため、遊技者が遊技球を延々と打ち続けることによって、賞球の払い出しも継続してしまい、ホールの閉店時に遊技を終わらせることができないという弊害があった。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

本発明は、このような事情に鑑みてなされたものであり、その目的とするところは利便性が向上した遊技機を提供することにある。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

上記した目的を達成するために、請求項1に係る発明においては、遊技球が流下可能な遊技領域が形成された遊技盤を備え、前記遊技領域を流下した遊技球が所定の始動口に入球することに基づいて抽選を行い、該抽選の結果に基づいて図柄の変動表示を行い、該図柄の変動表示の結果として当り結果が導出された場合に所定の当り遊技を実行する遊技機において、

前記図柄の変動表示を行う変動表示手段と、

前記始動口を含む複数の入球口のいずれかに遊技球が入球することに基づいて、所定数の賞球を払い出す払出手段と、

前記当り結果が導出される確率に関する設定情報を所定の表示部に表示可能な設定情報表示手段と、

所定のアウト口に入球した遊技球数を計数し、該計数した結果に関連する特定情報を表示する特定情報表示手段と、

当該遊技機の電源が投入されるときに所定の設定確認操作が行われると、前記設定情報を前記表示部に表示するものの前記設定情報を変更することができない設定確認状態に制御する設定確認状態制御手段と、

を備え、

前記図柄の変動表示中に当該遊技機の電源が遮断され、その後の電源投入の際に前記設定確認操作が行われて前記設定確認状態が発生した場合には、該電源が遮断される前に行っていた前記図柄の変動表示を前記設定確認状態中に再開させず、前記設定確認状態の終了後に再開させるようにし、

前記払出手段による賞球の払い出し中に当該遊技機の電源が遮断され、その後の電源投入の際に前記設定確認操作が行われて前記設定確認状態が発生した場合には、該電源が遮断される前に行っていた賞球の払い出しのうち未だ払い出されていない分の賞球の払い出しを前記設定確認状態中に再開させるものであり、

さらに、前記設定確認状態中に前記アウト口に入球した遊技球については、前記計数の対象とせずに前記特定情報を更新されないようにした

ことを特徴とする。

**【手続補正7】**

**【補正対象書類名】**明細書

**【補正対象項目名】**0009

**【補正方法】**変更

**【補正の内容】**

**【0009】**

本発明の遊技機においては、従来に比べて利便性が向上した遊技機を提供することができる。